

「こんななごや本あります」バックナンバーリスト

2021年6月改訂

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
愛知縣飲食料品類卸、小賣公定協定價格表		中央飲食料品商報社	1940年	昭和15年発行の調味料から飴、佃煮、海苔といった様々な飲食料の卸売価格・小売価格などが書かれている資料です。資料の中には「タピオカ」の記述もあり、当時どのように食べられていたのか気になります。
愛知県下公私立図書館記念写真帖	愛知県図書館協会／編	愛知県図書館協会	1928年	愛知県下の公共図書館、私立図書館の写真帖です。昭和2(1927)年の愛知県行幸を記念して作成されました。撮影の時期は明記されていませんが、当時の県下各地の図書館の様子がわかる貴重な資料です。大正12(1923)年に開館した名古屋市立図書館や現在の名古屋市西図書館の前身の名古屋公衆図書館をはじめとした名古屋市内の図書館の写真も、もちろん掲載されています。
愛知縣唱歌	大和田建樹／作歌	永昌堂	1911年	明治後期に大量につくられた地理教育唱歌。「歌による知識の修得」を狙いとし、地理の内容を歌詞に折り込んだものでした。愛知県に関する地理教育唱歌のうちの1つがこの「愛知縣唱歌」。歌詞を読むと、明治時代の名古屋や県内各地の特徴がわかる！かもしれません。
愛知縣商品陳列館案内		中村寫眞館	1911年	明治43(1910)年3月に竣工した愛知県商品陳列館を紹介した本です。愛知県商品陳列館は、県内の商工業振興のため設立されました。館内の写真や出品目録が掲載されており、織物・陶磁器などの商品見本が数多く展示されていたことが分かります。
愛知県勢図絵 1951年2月 NEW!	愛知県総務部 統計課／編	愛知県	1951年	昭和26年に出版された、愛知県の統計資料です。当時の県政のデータが目で見ても分かりやすいよう、グラフやイラストで工夫して表現されています。色使いもカラフルで、デザインの観点から見てもおもしろいです。
愛知縣の毛織服地		愛知県	1937年	昭和12(1937)年当時の愛知県による毛織物の品質検査について書かれた本です。検査方法や器具が紹介されています。合格品表示のデザインがかわいいですね。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
愛知の蔬菜		愛知県立農事試験場	1919年	名古屋は、大根や白菜が特産だって知ってた？この本は、愛知県特産の野菜の沿革や栽培法を解説したもの。切り干し大根やトマトソースなど、加工のしかたも分かります。
伊藤圭介先生遺墨遺品展覧会記念		市立名古屋図書館	[1937]年	伊藤圭介とは、幕末から明治にかけて活躍した、名古屋出身の理学博士です。この絵はがきは、伊藤の功績を世間に知らしめるため、昭和12年、市立名古屋図書館(現在の鶴舞中央図書館)にて開催された展覧会の記念品です。展覧会は好評を博し、後に市内各地に伊藤の銅像が建てられるきっかけになりました。鶴舞中央図書館の敷地内にも座像があります。
大型焼夷弾と闘ふ	名古屋市防衛部/編	名古屋市防衛部	1943年	ドーリットル空襲を経た昭和18年2月19日、大型焼夷弾による空襲に備え実験が小牧飛行場で行われました。この資料は、実験に関わった軍部や専門家、消火を体験した隣組の人たちの座談会記録です。隣組が大型焼夷弾の被害を抑えるに当たっての指導書として利用されることを切望する、と序文に書いてあります。「大型焼夷弾、決して怖るべきでない」という言葉が時代を表しています。
尾張名所独案内	浅井広国/著	中村浅吉	1893年	明治26年当時発表されていた尾張の図絵は、その多くが事実に基づかない想像の姿を描いていました。編者は実際に土地を訪れて、古老に尋ね旧記を紐解き、尾張の正しい姿を世の中に伝えようとしています。挿絵も多く、この本を手にとると明治中期の尾張名古屋が色鮮やかによみがえるようです。
音楽時代 創刊号		音楽時代刊行所	1930年	名古屋で発刊された戦前の音楽雑誌です。デザインがとってもおしゃれ！全国の音楽界の様子が紹介される一方、名古屋の楽団の活動や名古屋で行われた音楽公演についても紹介されています。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
幹線なごや 創刊号	名古屋幹線工 事局幹線なご や編集部／編 集	名古屋幹線工 事局	1960年	東海道新幹線の建設工事のため、名古屋駅に設けられた「名古屋幹線工 事局」。東京オリンピックまでに完成さ せるため、準備から始めて用地買収、 設計、工事を5年間で行いました。『幹 線なごや』は全国から集められた職員 の親睦を図る機関誌で、それぞれの 現場で仕事がどのように進められて いたのかがわかるだけでなく、その生活 ぶりや心意気まで伝わってくる本です。
管内通信事業一覧		名古屋逓信局	1924年	愛知・三重・岐阜・長野・福井・石川・ 富山の7県の郵便や電話等を管轄し ていた名古屋逓信局がまとめた資料 です。各業務の創始からの経緯に加 え、統計が掲載されています。この統 計が面白い！ 増減が絵の大小で表 現されているのです！！
校歌総覧 新版		東洋経済出版者	1986年	「懐かしの校歌の歌詞をどうしても思い 出せない…！」そんな時に使えるの が、この本。愛知県内にある公立小中 高等学校の校歌の歌詞や楽譜が掲載 されています(楽譜は掲載されていな い学校もあります)。
御大典奉祝拾周年記念名 古屋秋香會々報		名古屋秋香會	1929年	昭和3年11月に名古屋市東区役所で 行われた菊の品評会の様子わかる 資料です。一言に菊といっても様々な 形があり、いろいろな美しさがあること とモノクロ写真からわかります。
四季のつきだし集 粋選 中京の珍味		愛知県調理技術研 究会	1952年	四季折々の旬の食材をつかった「つき だし集」です。春夏秋冬のそれぞれの 部にわかれており、簡単に作り方も書 かれています。『愛知縣飲食料品類 卸、小賣公定協定價格表』も一緒 に見ると当時の食材や料理方法がわか ります。 時代を感じる旅館や名品店の広告も 必見です。
車輛案内		日本車輛製造	1925年	日本車輛製造は、明治29(1896)年 に名古屋にできた鉄道車両の製造会 社。この本には、この会社でつくられ た機関車・電車の車両のほか、工場 の様子がわかる絵が載っています。鉄 道好きにはたまらないかも？
瀬戸電鐵沿線御案内		瀬戸電気鐵道	[出版年 不明]	大正初期に作成されたと思われる瀬 戸電(現・名古屋鐵道瀬戸線)の沿線 ガイドです。全線を描いた鳥瞰図に は、沿線の名所その他、当時計画され つつも実現しなかった幻の龍泉寺線 (小幡～龍泉寺)も描かれています。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
第六回東海陸上競技選手権大會兼第十九回全日本陸上競技選手権大會東海豫選會兼第十回萬國オリンピック大會第一次東海豫選會	[著者不明]	[出版者不明]	[1932]年	『鶴舞公園運動場開場記念競技大會番組』が行われた翌日に鶴舞公園運動場で行われた競技会の資料です。第10回万国オリンピック大会第一次東海予選会も兼ねており、第10回のオリンピックに出場した選手の名前を見ることができます。
大名古屋運河祭		[出版者不明]	[1937]年	昭和12(1937)年8月1日に中川運河で開催されたお祭りの写真集です。児童剣道大会・ボートレース・児童相撲大会が行われ、盛り上がった様子が伝わってきます。
多賀良富禰宝帳 昭和丁酉年		[出版者不明]	1957年	“多賀良富禰”と書いて“たからぶね”と読ませます。商売繁盛を祈って描かれた宝船が50点弱。中には酉年にちなんだデザインもあり、見て楽しい画集となっています。昭和丁酉年は、昭和32(1957)年。巡り巡って平成29(2017)年の干支も丁酉年です！
中元御贈答品の栞	[十一屋]		[19--]	お中元の贈答品を選べるカタログです。呉服類から食料品まで様々なものを取り揃えていることがわかります。背広上衣は27円、十八金指輪が8円など当時の物価の様子もわかります。
中等學校入學試験問題集 昭和2年度		愛知師範同窓會	1927年	今から90年以上前、中学校が義務教育ではなかった時代の入試問題集です。国語と算術(算数)の2科目が収録されています。王道の楽しみ方としては、やはり実際に解いてみることでしょう。
鶴舞公園運動場開場記念競技大會番組	[著者不明]	[出版者不明]	[1932]年	昭和七年四月に開設された鶴舞公園運動場開場記念の競技大会の資料です。陸上競技だけでなく、サッカーやホッケー、ラグビーなども行われたようです。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
名古屋映画演藝案内 創刊号		名古屋映画演藝協會	1931年	第二次世界大戦前の名古屋の人たちはどのような映画を見ていたのでしょうか。シネマコンプレックスのなかった時代、名古屋にはいろいろな映画館があつて、それぞれ特徴ある映画を上映していました。 この本は昭和6年名古屋の映画館(たくさんあります!)の上映案内です。週刊、というところに、映画文化の華やかさを感じます。
名古屋驛の今昔		名古屋鐵道局	1937年	JRセントラルタワーズ以前の名古屋駅について書かれた資料です。昭和12(1937)年2月1日から営業を開始するにあたって発行されました。明治19(1886)年3月に開業した当時の駅についてや、新駅の工事過程・設備等について書かれています。案内図が付されており、地下には浴場もありました!
名古屋観光案内	名古屋観光協會/編	名古屋観光協會	1933年	昭和8年発行の名古屋のガイドブックです。市内を効率的に回るためのスケジュールがくまっていたり、昼の名所だけでなく夜の盛り場やその楽しみ方を紹介したり、方言案内、民謡集などが組まれていたり、新しい試みに挑戦した画期的な本です。現在のガイドブックでは取り上げない試みもありますね。
名古屋市廳舎新築工事寫真帖		大倉土木株式会社 名古屋出張所	[1933]年	平成26年に愛知県庁本庁舎とともに国の重要文化財に指定された、名古屋市役所本庁舎。その工事中の様子や完成直後の姿がわかる写真帖です。
[名古屋市東角町広告 マッチ中京マッチ社謹製 マッチラベル貼込帖]	[製作者不明]	[製作者不明]	[製作年不明]	昭和初期に名古屋市中区東角町にあった中京マッチ社のマッチラベルコレクションです。ラベルは、色とりどり、デザインもさまざま、まるで小さな芸術作品のようです。
名古屋市警察史	名古屋市/編	名古屋市	1960年	昭和23(1948)年から昭和30(1955)年の約7年間、戦後の混乱期の名古屋で組織されていた名古屋市警察の記録です。犯罪捜査や交通指導、音楽隊による防犯広報などの警察活動の他、当時の警察官の服装や車両などの装備の写真が掲載されています。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
名古屋市消防の十年		名古屋市消防局	1958年	昭和23(1948)年に名古屋市消防局が発足してから十年の歩みがまとめられています。災害や事故の対応、訓練などの様子がわかります。当時の消防車や救急車は、今見るとクラシックな趣が感じられますね。
名古屋市鶴舞中央図書館建築関係写真集	名古屋市鶴舞中央図書館／編	名古屋市鶴舞中央図書館	1986年	昭和59(1984)年に開館した、鶴舞中央図書館の建設当時の記録です。工事中の写真と完成直後の写真を見ることができます。同じ建物だけど、現在とは違っているところもたくさんあります。懐かしい鶴舞中央図書館に会えますよ。
名古屋渋ビル手帖 創刊号	名古屋渋ビル研究会／編集	名古屋渋ビル研究会	2014年	「渋ビル」とは、街で見かける1950～70年代に建築された、とても有名というわけではないけれど、渋くてカッコいいビルのこと。名古屋にある「渋ビル」を窓の形や外壁のタイル、入り口のサインなどの見どころと合わせて紹介されています。この本を読めば、普段何気なく見過ごしている身近なビルもこれまでと違って見えるかもしれません。
名古屋市立鶴舞公園附属動物園要覧 昭和3年	名古屋市立鶴舞公園動物園／編	名古屋市鶴舞公園動物園	1928年	昭和12(1937)年に東山動物園へ移転するまで、鶴舞公園には動物園がありました。創設の経緯や園内の動物一覧が掲載されています。現在、跡地には入口の門柱だけが残っています。
名古屋宝塚劇場新築工事概要		竹中工務店名古屋支店	1935年	昭和10年(1935)に広小路通に開館した、名古屋宝塚劇場の建設当時の姿を知ることができます。およそ2000名の観客を収容できる劇場の他に、スケートリンク、食堂、冷暖房設備、エレベーターなどを備えた5階建ての近代的なビルでした。
名古屋テレビ塔		名古屋テレビ塔	[1954]年	名古屋テレビ塔完成時に発行されたパンフレットです。建設現場や工事中の写真、塔内案内図等が掲載されています。当時の入場料は大人1人10円、展望台料金は同50円でした。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
名古屋電気鐵道沿線案内		名古屋電気鐵道	1914年	大正3年(1924年)に出版された、名古屋や周辺都市の観光ガイドブックです。名古屋電気鐵道は今の名古屋鐵道の前身で、明治31年(1898年)に開通した後、市内だけでなく、犬山や津島方面にも線路を伸ばし、多くの人々から利用されました。このガイドブックはその沿線にある名勝旧跡を紹介しています。
名古屋と伊勢		博文館	1902年	『文芸倶楽部』定期増刊号で名古屋の気風や舞踏、遊戯や紙鳶など幅広い情報が掲載されています。また、旅行の葉として、名古屋から主要都市への行き方、旅行者の心得やお弁当が売られている駅など面白い情報が満載です。
なごやの歌	名古屋市観光団体連絡協議会／編集	名古屋市観光団体連絡協議会	1970年	ポケットにすっぽり収まるかわいらしい歌集です。『「名古屋には歌がない」とよくいわれる」ことをきっかけに、昭和45年に刊行されました。収録された歌のジャンルは多様で、『名古屋市歌』などカタめの歌から、『名古屋パチンコ娘』などタイトルを聞いただけで楽しくなるような流行歌までさまざまです。中でも昭和40年に地下鉄名城線開通を記念して作られた『若いサブウェイ』は、「ああロマンチック名古屋地下鉄(サブウェイ)」など昭和感たっぷりの歌詞が郷愁を誘います。
名古屋のしらべ 改訂増補版	水野時二／著	浜島書店	1964年	小学生向けに書かれた本でしょうか、昭和30年代当時の名古屋のまちがわかりやすく紹介されています。読んでみると、本に出てくる「たかおくん」や「みよこさん」たちといっしょに昔の名古屋のまちを探検している気分になります。
名古屋の電話 30万突破を記念して	日本電信電話公社名古屋都市管理部／編	電気通信協会東海支部	1968年	名古屋に初めて電話線が開設された明治31年から昭和42年までの名古屋の電話の歴史がわかる資料です。名古屋に電話交換局が設置されることになったいきさつや加入者数、料金、通信技術の変遷などが書かれています。また、明治31年の開設当初の番号一覧(名古屋最古の電話帳！)も収録されています。
名古屋八景詞	永坂石埭／漢詩選	名古屋毎日新聞社出版部	1925年	“金城の朝陽”や“名港の帰帆”、“鶴舞の晴雪”など、投票により選ばれた八つの名古屋名所。この八景を題材に、漢詩・和歌・俳句が詠まれています。

書名	著編者名	出版者名	出版年	コメント
名古屋便覧 全 NEW!	長江銈太郎／ 編輯	柳城社	1910	こちらは明治42年に出版された名古屋の案内本です。序では「名古屋は我國の大都會、企業隆盛にして又史跡に富む。國民の一度は其足を停むべき地たる事謂ふまでもなし。」と熱く名古屋愛が語られています。名古屋城や熱田神宮などの名所旧跡や、交通・旅館・物産などの案内のほか、載っている企業広告も興味深いです。
名古屋松坂屋店内御案内		[松坂屋]	不明	松坂屋の各階情報がかわいいカードになっています！カードを開くと屋外から見た松坂屋の店舗が、ページをめくるとその階の絵地図が現れます。昭和12年の店舗を増改築完成した頃に発行したものではないでしょうか。
日本國勢調査記念録 第三卷〈愛知縣〉		日本國勢調査記念出版協會	1922年	大正9(1920)年の第1回国勢調査を記念して各地で作られた記念録のひとつです。調査員のデータや写真がまとめられています。国家の一大事業として調査を行う決意が伝わってきます。
日本陶磁器聯合會館新築工事概要		日本陶磁器工業組合聯合會	1934年	昭和9年に建てられた日本陶磁器聯合會館(旧館)の様子がわかります。地上4階地下1階の建物で、正面の壁には日本陶業製のタイルを貼るなど陶業工業組合らしい建物でした。
汎太博大会見物虎の巻 三日かゝるのを一日で廻る		汎太博ガイド社	1937年	昭和12(1937)年に開催された名古屋汎太平洋平和博覧会のガイドブック。会場のおすすめポイントを対談形式で紹介しています。人気のあるところを効率よく見てまわりたい気持ちは、今も昔も同じですね。
City of Nagoya and its environ s		Municipal of Nagoya	1927年	当館で最も古い、英語のみで書かれた名古屋のガイドブックです。名古屋城が「The Nagoya Rikyu」(名古屋離宮)として紹介されていたり、「The Zoo」(動物園)の見出しでは東山ではなく鶴舞だったり…。昭和2年当時の名古屋への時間旅行ガイドブックとしておすすめです。